

第

42

期

1

コース No.

徹底した自社分析で獲得する体系的経営力

経営後継者研修

卒業生800名超の全国に広がる経営者ネットワーク

全10ヶ月間：全日制《後継者育成専門プログラム》

2021年
10月4日(月)
開講



気持ちが変わった。それが一番大きかった。
本気で**経営者**になろうと思う日。

Be a Great Small.
中小機構

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
中小企業大学校 東京校

The Learning of
Business Successors
経営後継者研修

創業者の「志」を受け継ぐ。
自社の未来を変えるのはあなたです。



7月撮影:オンライン講義風景



2019年11月撮影:業務プロセス分析実習



10月開講時の40期生

集え、 次代の**経営者**

- 》 経営者マインド開発
- 》 経営戦略
- 》 情報化・国際化
- 》 能力開発
- 》 マーケティング
- 》 経営法務
- 》 ゼミナール
- 》 財務
- 》 リスクマネジメント
- 》 経営基礎
- 》 人的資源管理

卒業生の声

後継者としての生き方

株式会社カネコ小兵製陶所 伊藤 祐輝



父の経営する会社に入り、半年ほどでこの研修を受講することになりました。「経営の基礎的な知識が得られる」とか「同じ境遇の仲間ができる」ということを聞き、受講を決めました。研修を終えてみて、たしかにその通りだったと思います。経営戦略の立て方や財務、リーダーシップなど、会社経営をする上で役に立つ知識がたくさん得られました。また、同じ悩みを抱え、相談し合える仲間もできました。

それ以上に大切な気づきとなったのが「後継者としての生き方」です。受講前の私は、良い経営をする為には

何をすべきか(To Do)ということしか考えていませんでした。しかし、まず考えなければならないことは、経営者としてどうあるべきか(To Be)だということわかりました。そこから自分の生き方を見つめ直すことができ、向かうべき憧れや夢を見つけ出すことができました。経営者はたくさんの人をしあわせにする力を持つ存在だと思っています。この研修で、その力がぐっと高まりました。

そして、これからも後継者として自分がどう生きるかを考え続けていきたいと思っています。

将来について話してみようと思った。
うちの会社はこれから面白くなりそうだ。



株式会社カネコ小兵製陶所 経営者と後継者



ゼミナール論文発表会



終講式



The Learning of Business Successors 経営後継者研修

経営者の声

未来をひらく後継者研修

株式会社カネコ小兵製陶所 代表取締役社長 伊藤 克紀



私が28歳の時、現在の会社に入社し40歳で父が亡くなり会社を継ぐことになりました。

二代目の父と12年間一緒に働いていたにも関わらず、いざ社長になってみるとわからない事ばかりで苦労しました。それは後継者として経営の基礎的な勉強をしておらず、父と会社について話をあまりしなかったことが要因の一つだと考えていました。

経営後継者研修に派遣するにあたって、研修カリキュラムを見たとき、経営者が学ぶべきテーマが的確でした。特に「自社分析」では後継者と自社の歴史と経営の話をする機会を得て、私自身も勉強になり、将来に向け

での議論もできるようになりました。

また同期の方々と共に学び、様々な悩みを共有することができたのは、本人の人生にとっても大きな財産になったと思います。

今回の研修を糧にして、4代目としての自覚と覚悟をもち社員とともに会社の発展に努めてほしいと思います。コロナ禍にありながら最後まで研修を続けていただけたことに感謝し、また講師の先生をはじめ機構の事務局の方々には心よりお礼申し上げます。

第42期 経営後継者研修 募集要項

●対象者

下記(1)～(2)のすべてを満たす方

- (1)中小企業の経営後継者候補又は経営幹部候補の方
- (2)心身ともに健康な方

※自社または他社における実務経験が1年以上ある方が望ましい。

中小企業とは、資本金又は従業員数のいずれかが、下表の範囲内である企業です。

業種	資本金	従業員数
製造業、運輸業、建設業、ソフトウェア業、情報処理サービス業、その他の業種	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下
旅館業	5千万円以下	200人以下

●研修期間・研修時間

2021年10月4日(月)～2022年7月15日(金)

※土日祝日・年末年始等を除く毎日研修が実施されます。

※原則午前9時40分～午後4時40分(昼食休憩1時間含む)

●定員 20名

●受講料 1,283,000円(教材費含む・税込)

※受講料は変更になる場合があります。

※表示の受講料は、消費税率改定後の税込み金額となります。

●実習に伴う経費負担について

現地講義や実習など企業訪問に伴う交通費及び宿泊費等については、受講料には含まれません。個別にご負担いただきますのでご了承ください。なお、費用等詳細については、開講後に決定次第、随時お知らせいたします。

●ノートパソコンの持参について

各種演習やレポート作成のため、受講にあたってはノートパソコンをご持参いただくこととなりますので準備ください。

●申込方法

(1)受講申込書

(本パンフレット内の申込書に必要事項をご記入ください)

[東京校ホームページからもダウンロードできます。](#)

www.smrj.go.jp/institute/tokyo/training/sme/succession/application/

(2)本研修の志望理由書(800字程度、様式不問)

上記(1)に(2)を添えて、当校あてに郵送してください。

(3)健康診断書

下記、検査項目が記載されているもので、2021年4月1日以降に受診した健康診断書を選考審査日までに郵送してください。

- ①医師の総合所見 ②血圧測定 ③血液検査 ④胸部レントゲン
- ⑤胸部聴打診 ⑥既往症等

また、受講申込をされた方には、社会人向け基礎力テスト等の受験をお願いする場合がございます。当校から別途ご案内いたします。

お問い合わせ先

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

中小企業大学校 東京校 企業研修課

〒207-8515 東京都東大和市桜が丘2-137-5

TEL:042-565-1207 FAX:042-590-2685

URL:www.smrj.go.jp/institute/tokyo/

Eメール: to-kenshu@smrj.go.jp



経営後継者研修の詳細はこちらから

申込締切日及び選考審査

	申込締切日	選考審査日(予定)
第1次	2021年3月31日(水)まで	2021年5月中旬以降
第2次	2021年4月30日(金)まで	2021年6月中旬以降

※応募多数の場合、第1次申込締切日をもって受け付けを終了することがあります。お早めにご応募ください。

また、第2次申込締切日終了後、空きがある場合は、申込みを受け付けます。お問い合わせください。

●選考審査方法

- (1)受講申込書及び志望理由書等による書面審査
- (2)受講申込者及び派遣元企業代表者との面接審査

●受入決定

選考審査の結果、受講可能な方については、当校から「受講決定通知書兼振込依頼書」を送付いたします。また、受講料につきましては、「受講決定通知書兼振込依頼書」記載の口座へ指定期日までにお振込みください。

※振り込み手数料は貴社のご負担になります。

※納入後の受講料は、受講を辞退される場合でも、その全部又は一部を申し受けます。

入寮を希望される方へ

●場所

東大和寮(校舎併設)

〒207-0022 東大和市桜が丘2-137-5

●寮費

2,700円/泊(税込)(朝食サービス込※)

※金・土・祝前日の宿泊については、朝食がありません。

(土・日・祝日の翌日の食堂の営業がないため)

※寮費は変更になる場合があります。

●食事

校内食堂利用の場合、昼食・夕食の合計で1,000円程度

講義・施設見学のご案内

校内で講義が行われている日には、研修や施設をご見学いただくことができます。

受講を希望される方、検討されている方は、ぜひ実際の講義現場をご覧いただき、その雰囲気を感じてください。

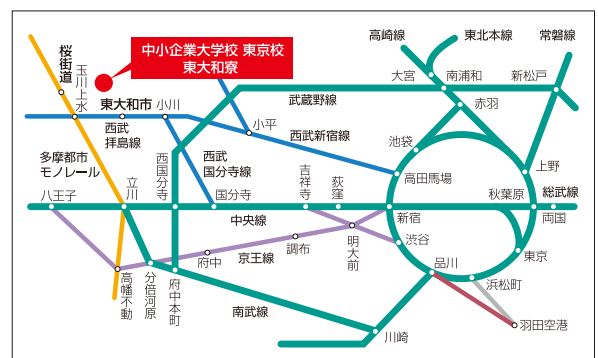
●開催日/講義開催日(平日月曜～金曜)

●開催場所/中小企業大学校 東京校 TEL:042-565-1207

Eメール: to-kenshu@smrj.go.jp

●開催時間/午前の部10:00～12:00 午後の部14:00～16:00

※電話・Eメール等にて事前にご予約下さい。



西武拝島線「東大和市駅」徒歩10分

多摩都市モノレール「桜街道駅」徒歩15分

※タクシーでお越しの際は、玉川上水駅をご利用ください。

歴代経営者の価値ある経営をさらに成長・永続させる!

自社の未来を描き、その実現に向け社員を巻き込み自ら率先垂範する『後継経営者』を目指す!

育成目標とする経営後継者像

自社の価値ある経営に気づき、熱意を持って行動する経営後継者

グローバルな視野を持ち、自社と自身の将来像を明確に描ける経営後継者

財務に明るく、多角的な視点で現状把握ができる経営後継者

リーダーシップを発揮し、早くて確かな判断ができる経営後継者



次代の経営者を目指す経営後継者に必要な基本的能力や知識を実践的に習得できるカリキュラムをご用意しております。各方面で経営者・経営幹部として活躍する800名を上回る卒業生を輩出し、40年の歴史と実績に裏打ちされた「経営後継者研修」をぜひご活用ください。

経営後継者研修の

5つの 特長

1 10ヶ月間全日制が経営者の視点と経営意欲に火をつける!

自社を離れる10ヶ月間の月日が、自社での担当業務だけでは得られない、経営者としての視点や全体最適の感覚を研ぎ澄まします。また、徹底的な自社分析で歴代経営者の価値ある経営を真に理解することで、自然と経営意欲に火がつき、自ら未来を創る一步を踏み出します。

2 段階的な学習手法が、実践的な知恵を養う!

企業経営の知識・スキルについて、「わかる」→「できる」→「やってみる」と基本的な内容から段階的に学びます。学んだ内容は、必ず自社に当てはめて考えますので、単なる知識では終わらない、経営の現場で使える実践的な知恵が習得できます。

3 考える力とコミュニケーション力を強化する!

仲間との白熱したディスカッションや経営の現場に赴き実践する企業実習により、短期間では養えない、論理的に考える力と相手に伝えるコミュニケーション力が飛躍的に向上します。

4 ゼミナル形式のきめ細かなサポートで自社と自身の未来を描く!

研修成果物となるゼミナル論文作成で、経験豊富で何でも相談できる専門家がきめ細かに個別サポートしますので、自社と自身の未来を明確に描けます。また描いた未来像を環境変化に合わせ変更、修正をしていく柔軟な思考が身につきます。

5 業種・業界を越えた生涯にわたって語れる仲間になる!

長期間、共に学びあうことで何でも腹を割って語ることができる、業種・業界を越えた仲間になります。各方面で経営者・経営幹部として活躍する800名ものOBとのネットワークは、卒業後もお互いに刺激し合い、切磋琢磨できる生涯の学びあう人脈となります。もちろん将来のビジネスパートナーの可能性も広がります。

研修の進め方と学習手法

実践的で確かな知恵を育む段階的な学習手法



カリキュラム ※カリキュラムは変更する場合がございます。下記、カリキュラムは一部です。

徹底した自社分析と実践的なカリキュラムで 経営スキルに磨きをかける

経営者としてのマインド・スキルの開発

経営者マインド開発 自社沿革・経営理念分析
派遣元企業合同研修会/
企業経営とミッション、ビジョン/経営後継者の心構え/
経営後継者研修とその後の私の経営観【OB講演】/
事例に学ぶ後継経営者のあり方/
経営後継者と事業承継/在校生・卒業生合同研修会/
経営後継者研修の全体像と目標設定

能力開発
論理的思考法/対人影響力/リーダーシップ/
ファシリテーション

ゼミナール
自社分析フォローアップ/専門研究/
論文作成指導



▲ゼミナールの様子

経営スキルの習得

経営基礎 自社業界・業務プロセス分析
ビジネスシミュレーション/
製造業の経営環境と業務プロセス/
製造業の業務プロセスと分析の進め方

経営戦略 自社第二創業プラン策定
経営戦略概論/経営戦略策定プロセス演習/
経営後継者の経営観と経営戦略/
第二創業を成功させる着眼点/
中小企業の第二創業の実際/
ビジネスプラン策定手法/
新規事業プラン策定の実際

財務 自社決算書・財務分析
自社利益・資金計画策定
経営財務への誘い/決算書の仕組み/
企業経営と財務のつながり/
財務分析の意義と進め方/
財務分析手法と改善のポイント/
キャッシュフロー計算書の作成と分析/
企業経営に必要な税知識/
利益計画の作成方法とその運用/
資金計画の作成方法とその運用/ほか

マーケティング 自社経営戦略・マーケティング分析
経営戦略・マーケティング戦略の考え方と進め方/
経営戦略・計画策定の実践と経営管理

人的資源管理 自社の人的資源管理分析
企業経営と人事制度、人事制度設計手法/
中小企業の人材活用の実際/
組織原則/組織の中の人間行動とモチベーション/
労働に関する諸問題/モラルサーベイの意義と進め方

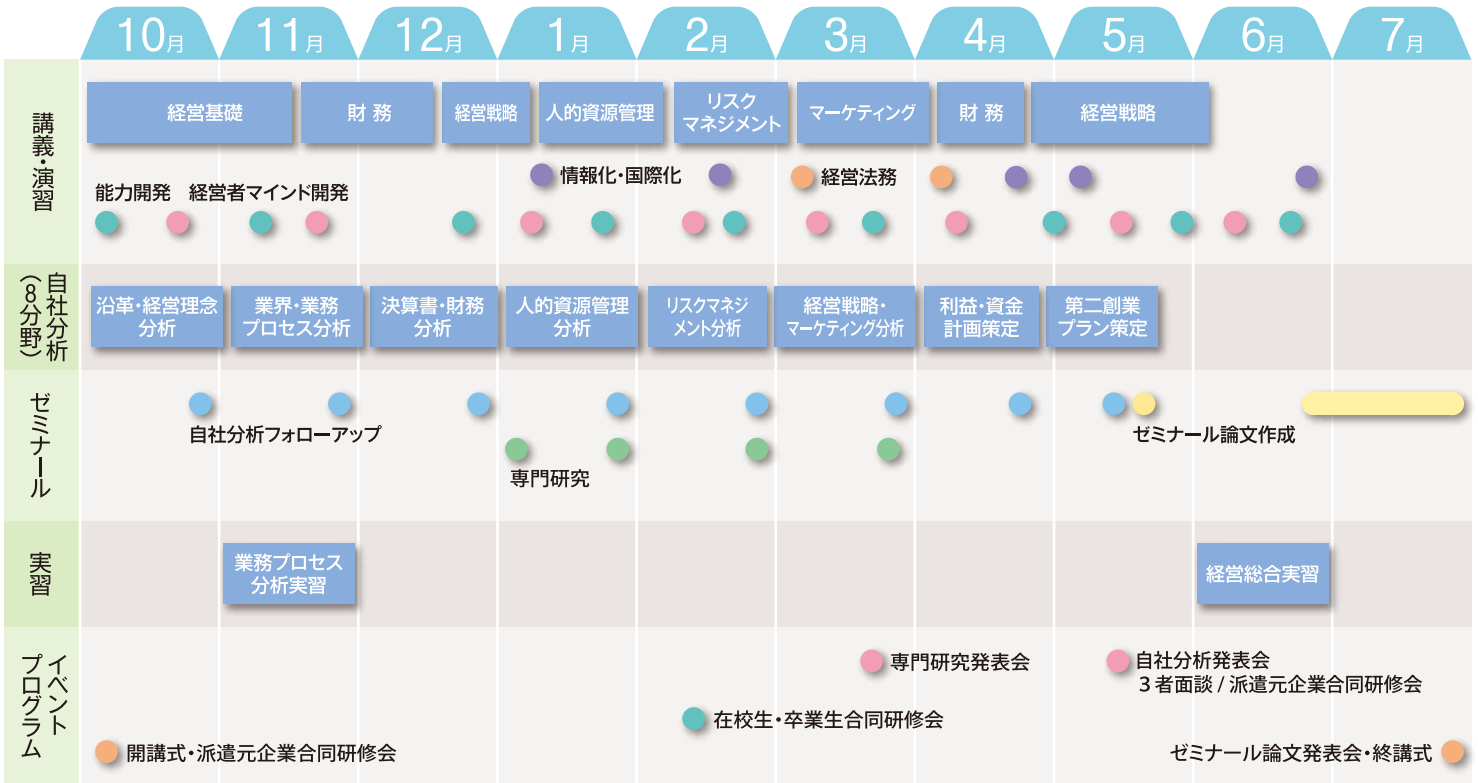
情報化・国際化
中小企業経営と情報化/中小企業のIT活用の実際/
中小企業の働き方を変革するIT・クラウドサービスの活用/
中小企業の海外展開/
中小企業の海外マーケティング戦略の実際

経営法務
企業法務入門/
人事・労務関連/知財マネジメント関連/
事業承継税務関連

リスクマネジメント 自社リスクマネジメント分析
企業経営とリスクマネジメント/
危機に対応するBCP(事業継続計画)の考え方と演習

10ヶ月間のスケジュール

理想が明確なビジョンに変わって行く10ヶ月間



※スケジュールは変更になる場合がございます。

よくある質問と回答

Q 社会経験、自社経験は必要ですか？

A 社会経験は最低1年以上あることが望ましいです。自社経験は問いません。

自社経験が1年未満で受講されるケースは年々増加しています。その場合、自社分析では自社資料を収集したり、従業員へヒアリングする必要があるため、事前に社内での研修派遣の周知を図られることをお勧めします。ただし、自社経営そのものが分析の根幹となりますので、自社経験を有した方がより効果的な研修となります。「自社ビジネスをある程度理解していた方が効果的な自社分析が行える」との意見は卒業生からも聞かれます。

Q 経営に関する知識がなくても大丈夫ですか？

A 大丈夫です。

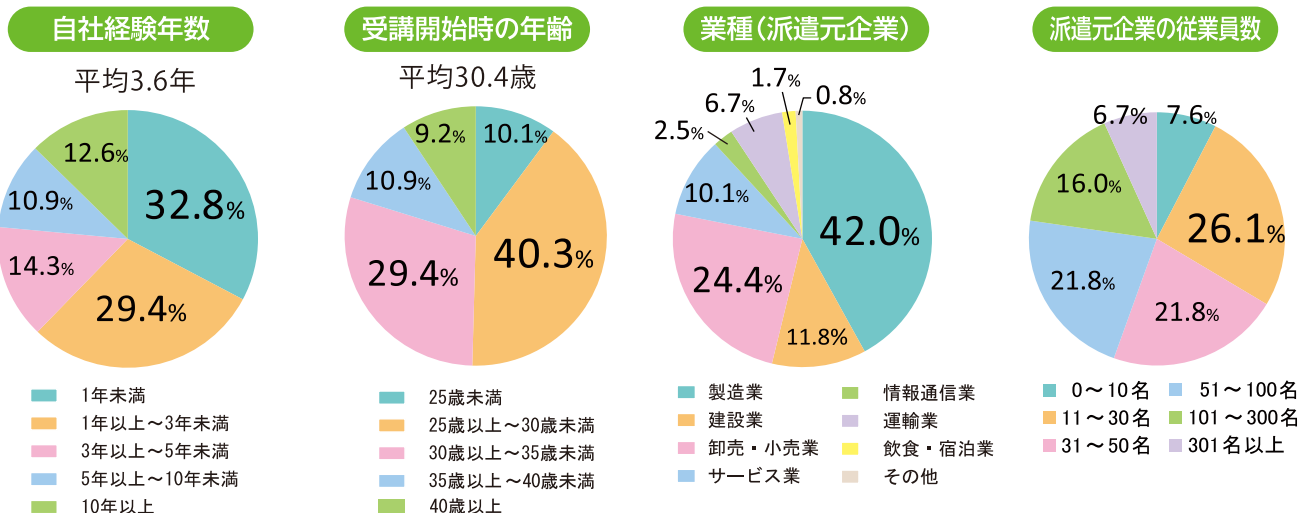
過去の研修生のほとんどは、経営に関する専門的知識やスキルを習得前の状態です。当研修では、基礎的な知識から応用まで段階的に、じっくりと、繰り返し学べますので、経営に関する実践的知識を着実に習得できます。ただ、受講前にカリキュラムをご覧になり、興味のある分野の参考書等に目を通していただくと、より一層理解がスムーズです。

Q 受講料の他に掛かる費用にはどんなものがありますか？

A 現地視察等の旅費及び宿泊費などがあります。

視察先所在地により異なりますが、過去の費用実績は、15万円程度でした。（企業実習2回、現地講義2回、在校生・卒業生合同研修会の交通費、宿泊費など、食費等を除く。）他に、自社分析の資料収集、ヒアリング実施時の帰社交通費が別途かかります。入寮される方は寮費が必要となります。

研修生の内訳（直近5期119名※）



第 42 期 経営後継者研修 受講申込書

コース
No.1

中小企業大学校 東京校長 あて

年 月 日現在

フリガナ				代表者役職				代表者の年齢
会社名	創業年:西暦 年 / 法人設立:西暦 年			フリガナ				
				代表者氏名				
所在地	〒 都道府県							
TEL				FAX				
業種	E.製造業 I-1.卸売業 I-2.小売業 R.サービス業 D.建設業 G.情報通信業 H.運輸業 M.旅館業 Z.その他 具体的に()			業種分類 (製造業のみ○印をおつけください)	9.食品 10.飲料 11.繊維 11.衣料 12.木材 13.家具 14.紙 15.印刷 16.化学 17.石油 18.プラスチック 19.ゴム 20.皮革製品 21.窯業 22.鉄鋼 23.非鉄金属 24.金属製品 25.はん用機械 27.業務用機械 28.電子部品 29.電気機械 30 情報通信機械 31 輸送用機械 32.その他製造業			
主要取扱品目				資本金	万円	従業員数	(うちパート 人 人)	
研修情報の入手先	1.ダイレクトメール 2.研修ガイド 3.ホームページ 4.受講生の紹介 5.商工団体等 6.金融機関 7.税理士等 8.新聞・雑誌 9.テレビ・ラジオ 10.区市等の機関紙 11.展示会等 12.その他()							
フリガナ	部署:			担当者 E-mail:				
事務連絡担当者	役職:			担当者電話番号:				
反社会的勢力でないことの確約について 当社(当機関)は、暴力団等の反社会的な勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。また、反社会的勢力に該当し、もしくは暴力的な要求行為等に該当する行為をしたことが判明した場合には研修の受講を中止されても異議申し立てを行いません。								

受講者履歴書 (現在、上記申込企業(自社)とは別の会社で勤務している場合でも、下記欄は申込企業における所属部署及び勤続年数等をご記入ください。)

フリガナ				生年月日(西暦)	年齢	性別
氏名				年 月 日	歳	
所属部署				役職	自社経験年数	年
担当業務の内容				(役職を記載の上、該当区分に○)	他社経験年数	年
				代表者 管理者	役員 管理者候補等	
所属部署所在地	〒 都道府県					
	TEL: FAX:		受講者E-mail: (パソコンメールのみ)			
自宅住所	〒					TEL: 携帯電話番号:
最終学歴	西暦 年 月		(大学院・大学・高校)		学部	学科(卒業・中退)

※受講者E-mailは、受講決定後、事前課題のご連絡に使用いたしますので、パソコンのアドレスをご記入ください。

写真貼付 縦4.0cm 横3.0cm 写真の裏面に氏名 をご記入ください。	年(西暦)	月	職歴(自社および他社)
所有資格			

※本受講申込書に写真を貼付して、志望理由書・健康診断書を添えて当校あてに郵送してください。

入寮希望(該当箇所の○印をおつけください。)				東京校メルマガ 発行時の送信可否	可 ・ 不可
希望する※	○	希望しない	○		
個人情報の保護について	個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用させて頂きます。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はいたしません。ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。				
他受講申込企業への企業名開示について	当研修では、カリキュラムに自社分析を取り入れており、企業の機密情報を扱います。そのため、受講企業間での競合関係・取引関係の有無等について、事前に確認させていただく必要があり、申込企業に対して申込企業名を開示いたします。予め、ご了承ください。				

大学校使用欄					
--------	--	--	--	--	--